

4月 モニターレポート		担当出張所	高槻出張所
担当区間	檜尾川合流点～大阪京都府境（阪急大山崎駅付近）（右岸28.2～35.4km）		
モニター実施日時	令和元年 4月26日（日） 時間帯：13:00～15:00		
天候	曇り		
（見出し）コロナの影響は…？			
<p>この4月は日本全国が新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための対策が取られ、非常に静かな1カ月でした。しかしながら、月末になり、外出を自粛していた人たちももう耐えられなくなってきた人たち、特に自粛と言ってもなかなかそれを理解できない小さいお子さんをお持ちのご家庭などでは、しかたなく近場の広場などに行く、などの対処をされています。また、体力の低下や健康維持が難しくなってきた大人たちも、走るための場所を求めておられます。</p> <p>今回河川敷を訪れた際も、やはり小さいお子さん連れのご家族が、ソーシャルディスタンスを保ちながらちらほらおられました。また、走る大人たちの姿も見られました。</p> <p>心配になったのが、運動する大人たちの年齢層です。</p> <p>お年寄りの方々が全くおられませんでした。</p> <p>毎月、河川敷を訪れるたびにそこで運動するお年寄りの方々を見てきましたが、今回は初めてかもしれません。お年寄りをまったく見かけませんでした。</p> <p>これは免疫力を気にされたお年寄りの方々が外出を控えているからか？と考えていましたが、果たしてお年寄りの方々が家にこもって全く運動せず、というのは非常に危ない状況です。</p> <p>外出しない生活で気になるのが筋力の低下です。また、外に出なかったら刺激のない生活は、脳機能にも影響してきます。</p> <p>自身の健康と外出のリスクのバランスをいかに取っていくのか。この辺りは非常に気になっている所です。</p> <p>河川敷でできているコミュニティでのおしゃべりも楽しみだった方もおられると思います。一刻も早く、新型コロナウイルス感染症のリスクが低下することを願ってやみません。</p> <p>※上記の事は、基本は外出はしないということを前提として話しています。</p> <p>さて、今回も360度カメラで河川敷の様子を撮影してきました。</p> <p>人がたくさんいる様子が伝わると思います。自粛ストレスの発散場所としての河川敷の役割を、非常に感じました。</p> <p>※一部、立ち話で普段と変わらないようにしゃべっている人がいましたが、いくら河川敷でもそれはリスクキダろうと思ってみていました。</p> <p>植物たちは、非常に繁茂しており、前回のカラシナの大群落は身を潜め、土手はカラスムギが揺れる草原となっていました。</p> <p>またクズが勢力を拡大してきたので、夏の香りを少し感じる事が出来ました。</p> <p>一つ河川敷の植物で気にしておかねばならないのが、特定外来生物のアレチウリで、既に30cmほどの大きさに成長していました。</p> <p>特定外来生物は、個人での移動や勝手な採取（駆除も含めた）は禁止されているため、生えているままにして</p>			

いますが、今年ヨシ焼きが開催されなかったこともあり、どのような影響が出るのか、非常に気になっている所です。

また来月訪れた際には、アレチウリの成長を確認したいと思っています。

★河川敷の様子（VR動画）



淀川に集う方々が日々健康で暮らせますよう。

（意見・感想・処置等）

モニターレポートありがとうございます。

緊急事態宣言による外出自粛が続く中、家の中で過ごす時間が長くなり、運動不足による体力低下は心配になりますよね。

淀川河川公園のHPで掲載されている新型コロナウイルス感染拡大防止のご協力をお願いする内容の一つに、屋外で密集する運動は避け、少人数の散歩やジョギングは大丈夫としております。適度な運動をして体力を落とさないように心掛けて、コロナに負けないように頑張ってください。

特定外来生物のアレチウリのつるは、長さ10mを超えることもあるそうです。大繁茂すると、河原の一面がアレチウリに覆われたようになることもあり、他の植物に届く光を遮ってその生育を阻害してしまいます。冬に枯死するアレチウリは、毎年2月に開催されるヨシ焼きによって繁茂を抑制していたのかもしれませんが。ヨシ焼きは淀川の保全に繋がりますので、中止はとても残念です。そして今後、淀川の自然にどのような影響を及ぼすのかが心配です。

ご報告ありがとうございました。

では、来月のレポートも宜しくお願いします。